オフィスホワイトニング同意書

- ホワイトニング治療は個人によりその効果が異なりますので、全ての方が必ずしも現在の状態から改善されるという保証はありません。
  変色の原因によっては色調の改善が見込めないこともあります。
  しかし多くの場合、シェードガイドを基準として3～4段階明るくなります。

- ホワイトニング効果の持続期間は、変色の原因及び生活習慣によって変わってきますが、2～3カ月に一度のタッチアップによってその白さを保つ事が出来ます。

- ホワイトニングにより知覚過敏、歯肉の灼熱感、粘膜の潰瘍、歯の痛み等が生じる事がまれにあります。これらの大部分は一時的なもので、通常数日で治癒します。

- すでに知覚過敏の傾向がある場合、ホワイトニングを行う事でさらに症状が悪化することがあります。

- 妊娠する可能性が高い方、あるいは妊娠中・授乳中の方のホワイトニング治療はおすすめいたしません。
- 時期をずらして行う事をお勧めします。

- ホワイトニングを行うと、歯の表面に白い点状のものが現れる事があります。
  これは歯に元々あるものが、ホワイトニングにより強調されたものです。
  数週間から数カ月経つとなじんできますが、気になる場合は歯を削って白いつめものをするなどの処置が必要となります。

- 通常ホワイトニングにより、神経のある歯の色調は明るく変化します。
  しかし、充填物（詰め物）補綴物（被せ物）の色調は変化せず、神経の無い歯も変化は神経のある歯よりも色の変化は小さくなります。
  そのため、これらの色調が異なって見えるようになりますので、あまり目立つ場合はこれらの処置をやり直す必要が出てきます。
  また、神経の無い歯のホワイトニングでは、歯の内側（神経の入っていたスペース）へ薬剤を入れ、内側から白くするという方法をとる事があります。

上記ホワイトニング治療の内容を全て読み、理解・了承しました。

平成　　年　　月　　日　　ご署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

波多野歯科クリニック